次回からSAKマークが入ります。

第2号

SAKだより

昭和53年4月20日発行
神奈川県スキー連盟
横浜市神奈川区鶴屋町2－16－6
電話 045（314）1385
発行者：笹貫敏男
編集者：佐藤嘉彦

昭和五十二年度 全行事終了する！

昭和五十二年度の当県連の行事は三月十二日の県選手権終了をもって全てつつがなく終了した。

本年度は、事務所取得という過去にない大きな出来事もあり又、シーズンインでは雪が不足して行事が流れるなど、宇余曲折はあったものの、会員諸兄のご協力で、何とか無事・シーズンを終えることができました。

今年度の特徴はまずは事務所の取得があり、大きなニュースとしては、規約の改訂・国体で皇后杯八位入賞などがあり、又新たに準指導員が六十一名増えて、六三〇名を越す指導者層となった。

県内で行われる競技会も年々盛大となり三つの大会ではべ千人を越す参加をみ、その結果が国体での成果となったものと思われます。この伸長を更に来年も継続させたいものです。

今年度の執行は予算では一九八〇万円の規模でスタートしたが、三月末現在で約一八〇〇円程度の決算金額となり、ますますといったところ。

行事も全て終了し、県連は年度末の集約と来年への準備が始った。

その一つは役員改選で、当県連の役員改選は二年に一度行われるが、本年はその改選期に当り、去る三月八日・第一回目の役員候補選出委員会が、各市協より選ばれた委員により開かれ、委員長に鈴木正義氏（川崎）が選ばれ、役員候補選出の作業が開始された。

三月三〇日に第二回目・四月十六日に第三回目が開かれほゞ結論に達しつつあり、最終的には五月十六日に臨時評議員会を開催して新役員の承認が行われる予定となっています。

又、昭和五十二年度末としての集約作業も執行部の手で着々と進められ、このたよりの発行日である四月二十日には協会・クラブ代表者会議が、又四月二十五日には各市協・会長・理事長会議開かれる。役員の臨時評議員会後は、年度集約・報告及び、次年度計画の討議・承認を得る定例評議員会が七月十六日に開かれる運びとなっております。

一期の執行を終えて

理事長　笹貫敏男

理事長をお引受けして一年八ケ月、二シーズンの全行事をとどこおりなく終了し、後は事務関係を整理し来る七月十六日に予定されている評議員会に公式にご報告するだけになりました。

この間、各協会長、理事長を始め各協会の皆さん、各クラブ、会員の皆さんに多大なご協力を頂き先づ厚く御礼申し上げます。

我々の連盟も来年（昭和五十四年）は満四十年を迎えるわけですが、この四十年の間、多勢の先輩諸氏の献身的努力に支えられ、育てられて、今や会員登録数では全国第三位の県連に発展しました。

明年に予定される県連創立四十周年のこの機会に、神奈川県スキー連盟のあり方を、原点に帰って、もう一度考え直し、見直して、これからの県連の方向を組織として決めてゆく必要があると思います。

当県連には上部団体が二つあり（全日本スキー連盟と県体育協会）加盟団体として十五の協会、さらに所属団体は百七十一団体、登録会員数は四千名を超えています。

このような組織においてすべて適時適切に情報交流を行い判断し企画・実行することはなかなかに困難な事です。それに最近では業務量もかなり増大しました。一方、それらの執行を担当する役員は県内各地から選出された人達で、職業の余暇をさいて業務執行に当るわけですが、献身にも時間的制約が多く、アマチュア団体の限界を感じさせられた二年間でした。

しかし乍ら、執行部はこの一期間、①明るい県連作り、②会員クラブの立場に立って執行、③将来の県連の為になる執行の三つの方針のもとに努力をして参りました。そして皆さんの御理解と御協力のもとに、規約規程の改訂、専用事務所の設置、専任事務局員の配置、各団体とのコミニケーションの場を拡大しSAKニュースの発行、推奨ゲレンデと指定宿舎制度の発足、協賛会員制度新設、内部事務処理の改善、行事執行の改善、国体皇后杯八位入賞等々の実績を上げる事が出来ました。

一方SAJ問題の未解決、新設制度の周知不足、役員の任期途中の辞任等、反省すべき点、さらに努力を要する点も多くあります。

いづれにしても任期も残り少く、未解決の多くを次期執行部に引継がざるを得ません。

目下役員選出委員会がもたれておりますが、スキー技術や業務処理能力はかりでなく、時間的余裕をもち、かつ積極的に協力、協調する意志のある方を選出して頂きより有能な執行部作りと、新執行へのより一層の御支援御協力を節にお願い申し上げます。

県スキー史初めてのポイント 国体皇后杯八位入賞

第三十三回国民体育大会は二月十九日より二十二日まで豪雪の信濃路、野沢温泉スキー場で全国より四十二都道府県の参加をみて開催された。

当県勢は馬飼野団長以下総勢四十三名の大選手団を送りこんだ。

表彰状
第33回国民体育大会
冬季大会
スキー競技
女子総合成績 第8位
神奈川県
昭和53年2月22日
第33回国民体育大会
会長　河野謙三

本県勢は女子の部で二種目に優勝者を出し、更に二名が入賞するなどの大活躍をみせ、県スキー史上初の皇后杯ポイント四点を得た。

男子は小関選手の入賞一名にとどまったが、各選手の活躍は例年にない大健闘であった。

同行の三塚副団長は「各選手の粘りのあるレース展開が優勝者を生み、皇后杯のポイントにつながったもので、選手全員の努力の結晶だ。是非来年もポイントをあげ順位も八位から更に上位にあげられるよう選手強化をすすめたい」と力強く語っていた。

尚入賞者は次の通り

大回転男子四部
⑨小関　晟（横浜スキー）

大回転女子一部
①小島景子（専大）
⑧成田伊予子（専大）

大回転女子二部
⑧中野恵子（横浜アルペン）

大回転教員組
①渡辺康子（平沼高教）

SAJデモに 小沢選手四年連続

（SAJ・小沢哲デモ）

三月には、めずらしい、粉雪の八方尾根スキー場で、第十五回全日本デモンストレーター選考会の火ぶたが切られた。

男子二百六十名、女子十九名の参加選手で、三月十四日予選種目が行なわれた。健闘むなしく、二名の予選通過であったが、各選手充分に、実力を出し切り、くいのない戦いであった。

決勝は、快晴の天候の中で、小沢選手、桑原選手、共に充分実力を発揮した。

健闘よく小沢選手がSAJデモンストレーター（二十一位）として四年連続認定された。

尚、小沢選手は明年一月下旬、山形県は蔵王スキー場で開かれる第十一回世界スキー指導者会議の日本代表デモンストレーターとして出場が予定されている。

SAKデモ選

一方、SAJのデモ選の出場選手そして昭和五十三年度SAKデモンストレーターを選ぶ、県のデモ選は、一月二十七日から二十九日まで戸隠スキー場で開催された。

倉金選手

桑原選手

上級者、有資格者合宿の合い間を縫っての時間帯で、行なわれたために、各選手共、大変忙しい大会となったが年々技術の進歩は、著しく向上し、目を見はるものがあった。SAJデモ選にも、大きな期待が持てた。

（SAKデモ認定者）
桑原毅彦（横浜）
倉金郁夫（相模原）
浅利輝夫（横浜）渡辺三郎（川崎）
原田　実（川崎）渋谷雄二（大和）
山田文男（川崎）及川城二（横浜）
鈴木貫太郎（川崎）
清水二三雄（藤沢）森下丈（川崎）
内村昇（横浜）二階堂治紀（川崎）
浜島雄二（小田原）柴田茂（川崎）

各部からひとこと

●総務部

今年は、総務部にとって大変な年でした。過去にない大きなことが沢山ありました。

事務所の開設・専任職員の採用県連各種書式の改訂と事務処理方法の変更・有資格者の把握と管理方法の改善、そして有資格者名簿の作成、SAKだよりの発刊とまさに新らしいものづくめで、更に健全財政化のための協賛会員募集推奨ゲレンデの指定と、多忙を極める一年でありました。

しかしながら、会員諸兄に十分なインフォメーションができずに活用していただききれない点も少なからずあったかと思いますが、一年間どうにか無事経過できたのは皆さんのご協力のたまものと感謝している次第です。

SAKだよりも本号で二号目を迎え、今後も継続して発刊される体勢も整いましたので、今後は会員の皆様の情報の糧として活用していただきたいと思います。

また事務所もあることですので、大いに意見を交換し、また近くにお出かけの節は、事務所で一服していっていただきたいと思っております。

尚、現事務局員に都合ができ、新たな事務局員を探しております。この人はといったお心当りがありましたらご紹介下さい。面談の上決めさせていただきます。

●普及部

昭和五十二年度普及部行事も、つつがなく終了致しました。

協会、クラブの協力に対し、感謝の意を申し述べます。

今シーズンは、十一月末のSAJ専門委員会議（秋田・乳頭温泉）さらに、十二月始めのブロック委員研修会も（新潟・みつまた高原）雪不足のため、狭山スキー場に、変更となり、その後に、予定されている、県連主管指導員研修会の開催も、懸念されたが、一応開催にこぎつけられ、無事終了した。

一月末、上級者強化合宿兼SAKデモ選は、五審三採用で、得点を公示する方式で、上級者合宿参加者をはじめ、応援の各協会・クラブの方々から、選手の上げる得点によって大きな歓声がわきあがり、好評でした。

準指検定は、従来にない合格者を出しましたが、内容的には若干問題を残こし、結果的ではあるが、指導員としての、基本技術の見直しが、重要な、ポイントである。

基本技術については、指導員研修会でも、過去数年間その重要さが、採り上げられていたが、まだ、末端まで、徹底されていない事は、担当部として、大いに、反省させられる事であり、来シーズンに、向って検討したい。

●強化部

今年度も会員の皆様の御協力により全行事を無事終了することが出来ました。プレトレの衰退、技術講習会の中止等々来年度に多くの問題点を残しておりますが、今年度を反省して、会員の皆様に安心して気持よく大会に参加して戴けるよう思案中ですが、一例としては、公式計時用として電子計時を採用し1／100秒のタイムまで記録され参加選手に好評を要した。

県内の競技人口は年々増加して強化部としてはうれしいことです。

スキーを経験した方全員に競技スキーの素晴らしさを体験して戴きたいと考えております。

しかし、雪なし県の神奈川では大会を実施できるスキー場探しから始めなければなりません。大会運営にかかる費用も漠大なものです。いかにしたら参加費をあげないで選手の皆様に満足して戴ける大会が出来るか私達と一緒に考えていただくと共に、各種大会は、参加選手を含め全員が役員、そして全員で運営するんだと云う面を強調して、会員各位のご協力をお願いいたします。

●傷対委員会

今年度の傷対委の活動は前年に比べ新しい事業を二つ実施した。

一つは日赤の救急員養成講習会で、十月に八日間連続の正規講習会を行い、受講者全員の三一名が合格という異例の高合格率の実績を残した。

もう一つは公バト受験の合宿を戸隠で行った事、当初計画にはなかったが受験生からの強い希望もあり、始めてではあったが実施し大きな成果を残した。

二つの新しい事業は来年も是非継続させたいと考えています。

その他の事業は予定どうり、理論講習会等を開催し啓蒙をはかった。

御協力ありがとうございました。

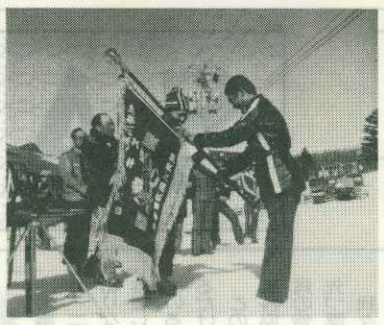
神奈川県スキー連盟 協賛会員一覧

株式会社横浜学校給食パン加工場
湘南ミッションボトリング株式会社
株式会社　金港スポーツ
実工技術開発株式会社
株式会社実工設計
株式会社シルクツーリスト
株式会社センターグリル
株式会社　杉山スポーツ
有限会社　森スポーツ
株式会社　マルセイスポーツ
国土計画株式会社万座スキー場
猪苗代スキー場磐梯ロッジ
関水スポーツ
スキーハウスアスペン
有限会社　秦野スポーツ
スポーツショップサニー
ホワイト北志賀
イレブン株式会社
とがくし屋
戸隠　山小屋　一九舎
ウイラとがくし　越水山荘
越水ロッヂ　シャレー戸隠
白樺ロッヂ　高妻ロッヂ
バードホテル　やちぼうず
戸隠高原ホテル　山小舎まるや
メルヘンヒュッテ　やまびこ荘
ロッヂアルム　ロッヂ飯島
ロッヂしみず　和田山荘
村営ロッヂ　戸隠ロッヂ
エーデルワイス

（裏面の下段へ続く）

県総体相模原初優勝!!
横浜の連勝をはばむ

第二十九回県総体スキー競技会は二月二十五日・二十六日に戸隠スキー場にて開催され、各種目に平均した得点をあげた相模原市が、常勝横浜市をおさえて堂々と初優勝をはたした。人口の少ない同市が優勝をはたした原因は市をあげての応援とチームワークの勝利と心より健闘をたたえたい。


優勝旗を受ける山崎強化部長

相模原市選手団長の話

「過去に準優勝は何回かありましたが今年は先に行なわれた郡市村抗駅伝でも相模原市が初優勝をしスキーでもと選手、監督一同張切って現地入りし、調整した結果、念願の初優勝が実現しこんなにうれしい事はありません。

これはスキー協会の皆さんが、夏からトレーニングを重ねた結果であると改めて感謝いたします。」

準指トップは上田君
新たに六一名の準指誕生

昭和五三年度の準指導員検定会が、二月一七日より二月一九日まで戸隠スキー場で行なわれた。

幸、天候に三日間とも恵まれ、コンディション最高のもとで一九四名が技を競った。

昨年の合格者が少なかったことから受験者は、昨年特に指摘された指導員としての基本技術の重要さが、各演技の中にみられ、予想以上の好結果がみられた。

協会別合格者は以下のとうり

1位合格の上田選手

（横浜スキー協会）
有田安男・西尾哲雄・須藤昭彦・大根田元彦・上村克紀・高橋　太田部井克之・菊地節子・黒川典功田中　誠・渡辺良雄・割柏俊朗佐伯英雄・高橋清勝・金沢正行山本正俊・横島敏夫・増田　昇宮本毅義・川上智之・杉本芳子西村俊信・菊地勇二・阿部義美峰岸正巳・上田　稔・紙谷　茂

（川崎スキー協会）
佐藤源之・安藤叔子・伊藤はるみ勝野　弘・飯島陽一・大森伸弥・桜井茂男・小山憲八・佐々木昭内田隆次・佐藤　茂・渡辺　全高橋治郎・水村和美・真壁達也佐藤修一・恩田武男

（小田原スキー協会）
山口利雄・鈴木孝雄

（藤沢スキー協会）
佐藤昭彦・青木礼子・井上　深小山信之

（相模原スキー協会）
皆見　章

（大和スキー協会）
斉藤　登・細川弘幸・田坂潤次鈴木　晃

（平塚スキー協会）
佐藤行男・成田雅子・比嘉定康

（横須賀スキー協会）
徳本　進

（茅ケ崎スキー協会）
佐野　洋

（鎌倉スキー協会）
水島　孝

「六一名」の新指導員の誕生です。生方、大変ありがとうございました。

各協会、クラブの先輩達は激励、鞭撻、願います。

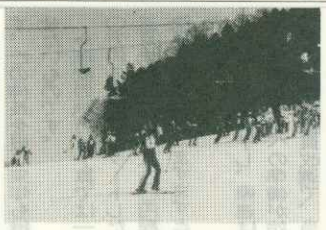
合格された、新指導者の皆さんも、尚、一層の技術の研鑽と指導力の向上に、励まれたし。

一位合格上田君（横浜SOS）の感想

「合格できて大変うれしい。まして一位で合格できるとは、思ってもいなかった。特に基礎スキーそのものの練習は浅いだけに自分でも意外でした。

一位合格を自分の励みにして、よい準指導員になりたいと思います。

ご指導いただいた諸先輩・諸先生方、大変ありがとうございました。」


検定会の模様

知事杯は三たび深見選手に
小仏杯は東芝チームに

第三十三回県スキー選手権大会は今年度最後の大会とあって、アルペン三百五十名、ノルディワク、四十名と多くの参加者をえて、吹雪の中で白熱戦が展開された。

競技人口の増加と大会日程等で数多くの問題点を残しながらも、男女大回転、男女回転、距離競技、継走の四種目が無事終了した。

成年男子三部の深見選手（スポーツマン）が大回転、回転と二種目ともあぶなげなく制し、最優秀選手に選ばれ、三回目の県知事杯を獲得した。又継走競技は東芝Aチームのアンカー杉本選手がトップの横浜スキークラブをゴール前で捕え逆転優勝を飾り、前年に引き続いて大仏様を獲得した。

県選手権成績上位者

大回転成年男子一部
一位　羽賀清（横浜スキー）　1・06・34
二位　佐藤正（スポーツマン）　1・07・75
三位　草野優（神大）　1・09・03

成年男子二部
一位　西村俊信（三菱横浜）　1・10・60
二位　吉田春雄（日立神奈川）　1・11・10
三位　清水貝和年（ソニー厚木）　1・13・04

成年男子三部
一位　深見和男（スポーツマン）　1・15・90
二位　小野寺忠直（横浜スキー）　1・17・38
三位　岡田悟志（アルペン）　1・19・55

成年男子四部
一位　大原伸悦（アルペン）　1・17・00
二位　合田康衛（コロポック）　1・20・00
三位　秋山紀公（ウルル）　1・21・10

成年男子五部
一位　青木規生（教職同）　2・31・64

少年男子
一位　筒井東吾（高体連）　1・26・10
二位　鈴木健太郎（〃）　1・27・42
三位　橋本寛和（〃）　1・28・93

成年女子一部
一位　前田富士美（横浜国大）　1・30・10
二位　野村純子（市大体育会）　1・37・00
三位　会川美登利（横浜国大）　1・38・10

成年女子二部
一位　荒木愛子（コロポック）　1・21・10
一位　中野恵子（アルペン）　1・21・10
三位　伏屋真澄（スポーツマン）　1・36・60

少年女子
一位　馬渕洋子（高体連）　1・35・56
二位　大下桃子（〃）　1・40・70

距離競技

成年男子一部
一位　菊地日出夫（横浜スキー）　1・2・11
二位　笠原清治（東芝）　1・4・23
三位　山田忠（横浜スキー）　1・6・34

成年男子二部
一位　杉本満（東芝）　1・9・28
二位　藤木豊（日産車体）　1・15・26
三位　長谷川春雄（〃）　1・21・25

成年男子三部
一位　勝又敬夫（日産車体）　1・16・55
二位　大下桃子（〃）　3・04・55

成年男子四部
一位　堀光平（東芝）　1・17・43

回転成年男子一部
一位　佐藤正（スポーツマン）　1・47・83
二位　根岸信介（関学体育会）　1・48・90
三位　三浦忠善（神大）　1・51・49

回転成年男子二部
一位　西村俊信（三菱横浜）　1・53・47
二位　星勝義（東芝）　1・55・60
三位　吉田春雄（日立神奈川）　1・58・77

回転成年男子三部
一位　深見和男（スポーツマン）　1・54・10
二位　小野寺忠直（横浜スキー）　1・55・65
三位　田中邦規（〃）　1・57・18

回転成年男子四部
一位　合田康衛（コロポック）　1・47・66
二位　小関晟（横浜スキー）　1・48・16
三位　鈴木毅（茅ケ崎スキー）　1・49・15

回転成年男子五部
一位　青木規生（教職同）　2・25・95

少年男子
一位　中田敦史（慶応高）　1・59・27
一位　角田祐二郎（高体連）　2・13・56
三位　増田佳之（〃）　2・34・10

成年女子一部
一位　草柳久子（横浜国大）　2・11・51
二位　飯塚えり子（フェリス）　2・15・82
三位　前田富士美（横浜国大）　2・18・20

成年女子二部
一位　中野恵子（アルペン）　1・52・77
二位　荒木愛子（コロポック）　1・59・53
三位　南雲靖子（同好会）　2・04・37

少年女子
一位　馬渕洋子（東女大附高）　1・59・68

継走競技
一位　東芝Aチーム　1・33・59
二位　横浜スキー　1・34・58
三位　日産車体　1・39・8

国体全日本予選会無事終る
電子時計、初の試み大成功!!

第三十三回国体予選会兼第五十六回全日本予選会は去る一月十九日から四日間、戸隠スキー場にて開催された。連日の吹雪の悪コンデションで、しばしば競技を中断する中で参加選手は最後までよく健闘し、各種目とも有力選手が上位入賞を果たした。尚大会運営にあたって多くの選手が吹雪の中、積極的にコース整備に協力して下さいました。紙面をかりて御礼申し上げます。尚、この大会から初めて計時を手動から電子計時にかえて実施したところ、タイムも正確で、また百分の一秒まで計測できることから同タイムもなく成功裡に試みは終った。次年度は是非電子計時機の購入を推進したい。

各種目の成績上位者は次の通りです。

滑降男子
①前田和範（専大）　1・32・50
②加藤　学（専大）　1・33・50
③羽賀清（横浜スキー）　1・37・20

滑降女子
①中野恵子（横浜アルペン）　1・47・20
②馬渕洋子（高体連）　1・50・60
③細谷愛子（コロポック）　1・54・60

大回転男子
①金沢広司（慶大）　1・07・74
②羽賀清（横浜スキー）　1・07・88
③高島義美（専大）　1・08・75

大回転女子
①成田伊予子（専大）　1・13・14
②桑原真智子（専女体大）　1・14・20
③渡辺康子（平沼高校）　1・14・34

回転男子
①加藤学（専大）　1・50・10
②菊地富士夫（横浜スキー）　1・52・20
③井上亮（雪朋）　1・54・10

回転女子
①桑原真智子（専女体大）　2・06・40
②佐々木ゆき（〃）　2・08・30
③細谷愛子（コロポック）　2・08・80

国体予選大回転　成年一部
①金沢広司（慶大）　1・06・60

成年二部
①深見和男（スポーツマン）　1・11・20

成年三部
①岡本数英（国鉄中原）　1・11・00

成年四部
①小関晟（横浜スキー）　1・12・30

少年男子
①水谷徹（山手学院高）　1・20・20

女子一部
①成田伊予子（専大）　1・10・70

女子二部
①細谷愛子（コロポック）　1・10・00

少年女子
①馬渕洋子（日女大附高）　1・21・70

国体全日本予選クロスカントリー南関東ブロック合同予選会は一月二十一日～二十二日の二日間、千葉県スキー連盟の主管で群馬県水上町上野原高原で行なわれた。大会当日は猛吹雪で十五粁コースを三粁コースに変更して実施した成績は次の通ちである。

◎女子
①栗田麗子（成蹊大）　17・24
②工藤和枝（東女体大）　17・28

◎教員男子
①山田忠（東横学園）　11・41

◎成年男子四部
①工藤政蔵（キャタピラー三菱）　11・02
②伊藤岩二（国鉄大船）　11・13
③堀光平（東芝）　14・05

◎成年男子三部
①金誠二（東芝）　12・58
②勝又敬夫（日産車体）　13・29

◎成年男子二部
①杉本満（東芝）　11・51
②田村樹男（東芝）　12・12
③藤木豊（日産車体）　12・26

◎成年男子一部（二周六粁）
①清水純（慶大）　20・18
②藤田努（横浜スキー）　20・55
③笠原清治（東芝）　21・54

おめでとう!!
11名の正指導員誕生

指導員検定は、準指導員を、取得してから、二ケ年を、経て、さらに、年令二十三才以上の者を、対象として、全国、五会場に、分かれ、第一会場（北海道小樽）第二会場（山形・蔵王）第三会場（長野・岩岳）第四会場（岐阜・朴ノ木平）第五会場（鳥取・大山）で、開催され、当県からは、二十名の受検申請があったが、十一名の合格者にとどまった。

今年度から、新制度により、前期五日間、後期四日間の会期で、受験者には、苦しい日程となっている。なお当県連から、検定員として、蔵王会場に片岡、須田、両専門委員・岩岳会場に柴田ブロック委員が、それぞれ検定員として出席し、当県受験者の、心技のささえとなった。

（合格者）
福沢洋治（横浜）石原宏（横浜）原和泉（横浜）田中孝一（川崎）仲村誠（藤沢）小林武尚（川崎）黒沢源三（大和）佐藤勝男（横浜）雲雀幸男（横浜）中野悟郎（横浜）下村真喜子（横浜）

会員登録四千人確保
伊勢原協会が新規加盟

今年度の神奈川県スキー連盟の規模は、全日本の会員登録料の値上げや、県連の健全財政化のための団体登録料の値上げで昨年度の登録実績を大巾に下まわるのではと懸念されていたが、三月末日現在で、会員登録四〇四一名でわずか一五〇名の減で留り、二年連続四千名の大台を確得し、東京、北海道につき第三位にランクされている。

団体登録は、正式には七月の評議員会の承認を必要とするが、新たに伊勢原協会が四クラブを擁して加盟し、一七一団体が登録を済ませており昨年に比べ四団体のひとなった。

有資格者の登録は、競化関係はほゞ横ばいで、技術指導員四名、運営指導員九名、旗門員二六名、そして公認パトロールは二十名となっている。普及の方は、指導員が一〇八名で前年比三名増、更に今年度合格者十一名がこれに加わる。又、準指導員は五一九名の登録で（今年度合格六一名含む）ほゞ当初予定した人員の登録となっている。

尚今年度SAK登録有資格者の確認を行い有資格者名簿を作成しました。この名簿に載っていない人は、資格を放棄した事になりますので確認して下さい。もし載っていなければ至急クラブ経由で県連に手続きをして下さい。

編集後記

第一号が好評（と信じていますが）であり、第二号は神経を使いました。まずは年二回発行する習慣づけと、会員の皆様に、ホットな県連のニュースをお届けすることにねらいを置いて編集しました。

あの時の写真を撮っておけばよかったとか、あの時どうすればよかったとか、後になって考えると残念に思うことが沢山あります。

又、まんが等も入れられたら良かったナー、などとも思っております。

第三号には是非是非会員の皆様の投書コーナーや、ダジャレコーナなどを設けて楽しい雰囲気づくりにしたいと思います。（佐藤）

◇事務局員募集
詳細面談
・希望者は事務所迄ご連絡下さい。

戸隠　旅館　八舎
久山館　大西旅館
大杉旅館　成瀬旅館
藤井旅館　太田旅館
武田旅館　二沢旅館
参議院議員　秦野章
株式会社小賀坂スキー製作所
平沼スポーツ店
トキワスポーツ店
ミキスポーツ店
トモエスポーツ店
日本交通公社
津南マントパークロッジ
八海山麓スキー場　岡村　八海荘
万座高原ロッジ
戸隠　民宿　二五舎
一番荘　山一荘　かすけ荘
きのした　よろずや　とくしげ
五妻荘　ロッヂ利美　あららぎ荘
小鳥荘　柏屋　和気
なるさわ　登屋　てらまち
千鳥屋　ふるさと　かつら
飯綱館　やまなか　山幸
マルイ屋　とうふ屋　新井屋